

意見交換会実施報告書（各種団体）

【1班】

開催団体	鹿児島県建設業協会甕島支部	参加人員	20人			
開催日時	平成27年11月17日（火）16:00～17:40					
開催場所	割烹旅館 安藤					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	持原 秀行	○		福元 光一	○	司会
	井上 勝博	○	記録・報告書作成	徳永 武次	○	
	佃 昌樹	-		帯田 裕達	○	
	今塩屋 裕一	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

1 甕島地域の建設業の現状と今後の課題について

《意見交換の概要》

- ◆ 学校や診療所の統廃合は結論ありきではないか。諸問題が山積している。（甕島の土地の事例を挙げて）甕島の土地の価値がなくなった。甕島の経済が全然駄目と言うことである。
- ◆ 公共事業が減って衰退していく一方、どうやって逆転するかが課題である。
- ◆ ピーク時からすると公共工事が3分の1程度に減っている。六次産業化でパッションフルーツ栽培を手がけているが、まだ一年目。今後、加工所や販売所をつくっていく。売り上げを少しでも伸ばしていきたい。
- ◆ 公共工事が3分の1程度に落ちている。公共工事が減ると、島内で生コンやアスファルトの生産もできなくなる。災害が起きたらどうするのか。生コンなどつくるプラントを維持するためにも公共工事を出してもらいながら、別の事業を見つけていきたい。
- ◆ 合併以来、公共事業が減った。現在、公園施設やキャンプ場など5施設の指定管理を受託しているが、指定管理者制度については疑問がある。
- ◆ 市は観光産業に力を入れているが、景勝地のある西海岸に行く道路などインフラ整備がなされておらず、観光客から苦情が出ている。原発が再稼働したので、交付金を使って道路の整備をお願いしたい。
- ◆ 藺牟田瀬戸架橋は、平成30年に完成予定で、残されたのが甕縦貫道の整備である。市議会でも架橋完成後の甕縦貫道の整備に協力をお願いしたい
- ◇ 藺牟田瀬戸架橋ができると他の道路の改良を考えないといけない。県と一体になってやらないとむずかしい。

- ◇ 政府が地方交付税のみなおしを検討している。これ以上疲弊したら大変であり、地方から声を上げていくべきである。財源を過疎化が進んでいるところに使うべきである。
- ◇ 甑島を観光で売り出すのなら、インフラ整備や地元理解が必要であるが、このような対応がなされなければ悪い方向へ宣伝される。

2 その他（甑島の地域医療について）

《意見交換の概要》

- ◆ ドクターヘリは要請してから2時間ほどかかる場合がある。
- ◇ 医師不足で診療所を統合することとなれば、病気やけがのときは大変である。地元の声をしっかりと上げさせる環境づくりが大切で、医師を見つけることに力を入れないといけない。
- ◇ 消防局の分駐所について、常備消防態勢の充実に努めるべきである。